

3. 情報デザイン科における実技検査について

情報デザイン科では入学者選抜に際して学力検査とともに実技検査の実施を予定しています。詳細は青森県教育委員会から発行されます「令和8年度青森県立高等学校入学者選抜における求める生徒像・選抜方法等一覧」で確認してください。

試験内容をよく読んで、普段の学習と並行して、実技検査に対する対策も十分に行い、実力を身に付けて入学者選抜に臨んでください。

4. 「情報デザイン科展」にみる本科の学び

本科では学習の集大成として毎年、学科展示を行ってきました。昨年度は黒石市役所わのまちセンターを会場として12月中旬に「第3回展」を実施いたしました。今年度の第4回展は、同じ会場で12月13日(土)から、8日間の日程での開催を予定しています。詳細は中学校等を通じて告知いたしますので、是非学科理解の機会として会場まで足を運び、生の作品を鑑賞していただければと思います。

令和6年度「第3回情報デザイン科展」アンケートから(ご来場の方々からの一部抜粋)

◆絵画や立体作品だけでなく、黒石高校100周年のデザインや企業ロゴのプレゼン等、かなり本格的で驚きました。この学びはきっと将来の職業にも役立つことと思います。生徒たちは良い学びをしているということを知ることができました。(40代・男性)

◆100周年を迎える黒石高校の新しい時代の風を感じられました。県内企業との連携取り組みや地域行政との連携、課題研究における企画考案など、「地域の高等学校」としての社会教育カリキュラムが素晴らしいと思います。母校の目覚ましい発展を今後も楽しみにしています。(20代・男性)

◆市役所に用事があって来たのですが、このような展示があると今後の楽しみが増えました。知り合いなどにも教えたいと思います。楽しかったです。中学生の娘と来たのですが、高校選びの参考になりました。(40代・女性)

◆情報デザイン科で、どのようなことに取り組んでいるのかよく知ることができました。私は将来イラストを描く仕事に就きたいと思っているので、皆さんの作品がとても参考になりました。(10代・女性)

◆以前ヒロロでの学科紹介で初めて見てから何度か拝見しておりました。地元企業とのコラボなどが充実しているなどと思って楽しく見ることができました。こういう試みのおかげで黒石だけではなく地元全体が活性化していきたくて嬉しかったです。(女性)

◆1、2、3年と段階を踏んだカリキュラムのもとに、子ども達が力を身につけていく過程がよく分かりました。展示の仕方も良いと思います。以前に比べて子ども達は小さい頃からPCを使う環境が整う中で、表現の仕方や技術も変化していると思われそうですが、次はどんなものが出てくるのかと思うととても楽しみです。そんな中でも1年生のポスターカラーを使った手作業の作品は、毎年展示されていて、こういう基本的な作業はないがしろにはならない作業であると思いました。(60代・男性)

【進路資料】学科の専門性(デザイン・美術系)を活かした進路先 ※令和6年度実績(数字)は複数名の場合の人数

【国立大学】(1名)秋田公立美術大学 美術学部美術学科 【4年制私立大学】(4名)東北芸術工科大学 デザイン工学部企画構想学科(2)/八戸工業大学 感性デザイン学部感性デザイン学科 /京都芸術大学 通信教育部芸術学部

【私立短期大学】(1名)奈良芸術短期大学 美術科デザインコース

【専修学校】(13名)代々木アニメーション学院仙台校(2)/専門学校デジタルアーツ仙台(2)/専門学校日本デザイナー芸術学院(6)/仙台デザイン&テクノロジー専門学校(2)/S.K.K.情報ビジネス専門学校



情報デザイン科展会場風景 於：黒石市役所わのまちセンター



2025 青森県立黒石高等学校「体験入学」情報デザイン科 資料

情報デザイン科紹介

地域共創・未来創造

「うれしい体験づくり」を目指して

1. 情報デザイン科とは

ビジネス分野における考え方や態度を身に付け、さらに、実際の作品制作を通じて社会におけるビジネスとデザインとの関連を考えます。授業ではビジネスにおける広汎な知識の習得やデザインの基礎的表現技術の習得、CGを活用した表現について学習し、それらを基にした多角的な着想や新たな視点により身の回りの課題を見出し、物事をより良くする活動に取り組みます。

近年は、地域資源を活用した商品開発とその販売促進活動や、地域企業との連携による学習活動等、新たな学習領域に積極的に取り組んでいるところです。

創意溢れる生活の創造、「うれしい体験づくり」を目指して、本校情報デザイン科では、マーケティング活動等に活用できる情報デザインに関する専門的な知識・技能を身に付け、地域経済の発展に貢献する人材の育成を目指します。



【様々なデザイン活動風景】

2. 情報デザイン科の学び

美術 I 「基礎表現：デッサン」▶



美術 I の学習目標を踏まえて、色彩理論や構成要素、表現手法等について学び、デザインの考え方と連携させながら美的体験を深めていきます。



ビジネス全般における基礎的態度を身に付け、ビジネスの諸活動やマーケティング活動に関する知識・技術の習得、情報活用能力の育成を目指します。

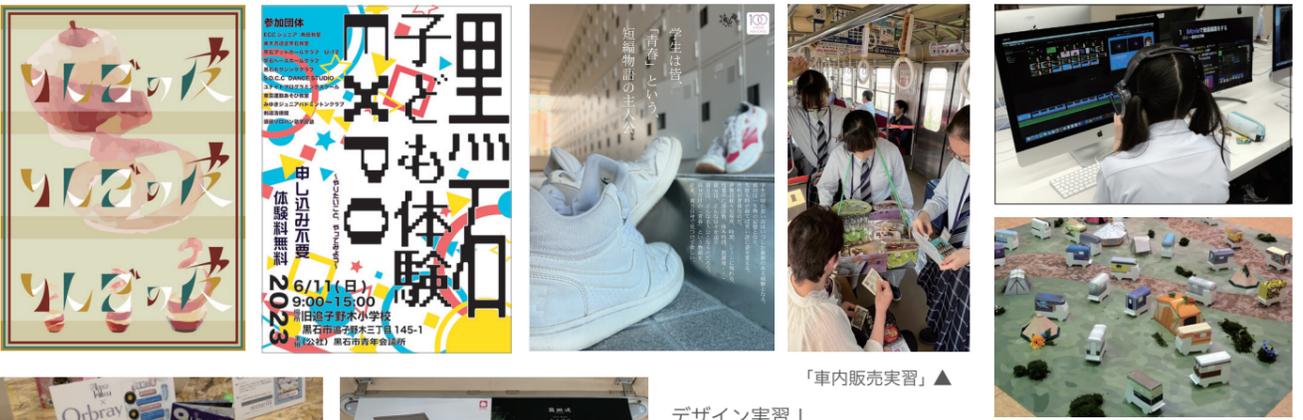
デザイン用具の使用方法や基礎的技法、色彩理論を学習し、それらを活用した平面構成等の作品制作に取り組みます。また、グラフィックソフト Illustrator を使用したCG基礎表現を学びます。



1年時の作品制作例 ▲ グラフィックデザイン 彩色演習：「細密描写」「くろいしの文学碑」「平面構成」

◆デザインに関する取得可能な資格と合格実績 ※色彩検定・マルチメディア検定の()内は令和6年度合格実績
 色彩検定(2級:83%・全国平均69% 3級:76%・全国平均75%)・マルチメディア検定(ベーシック:43%・全国平均64%)
 レタリング検定(令和7年度合格実績 2級:100%・全国平均41% 3級:67%・全国平均59%) ※マルチメディア検定は高難度の検定です。

▼ 探究デザイン I 「イメージ構成デザイン」 ▼ デザイン実習 I ・CG 「各種ポスターの制作」 メディアデザイン I 「映像編集演習」▼

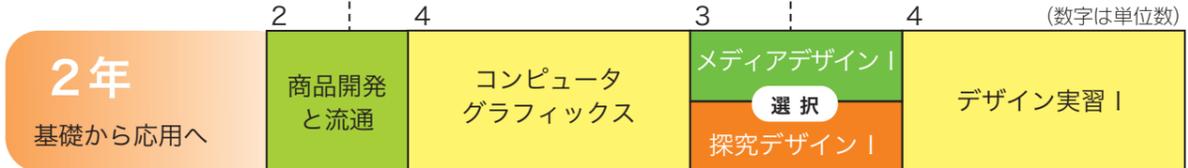


CG・デザイン実習 I ▲ 「産学連携事業 パンフレットデザイン」

デザイン実習 I ▲ 産学官連携事業 「弘南鉄道中吊り広告デザイン」
 デザイン実習 I ・CG ▲ 「キャンピングシェルのデザイン」

企業はどのように商品を企画し、製造・販売するのかを学習し、それに関連したデザインの技術について習得します。

講義としての「入門マルチメディア」、実習としての「表現メディア編集基礎」や「デジタルコンテンツ制作基礎」の学習を通じて情報活用能力と実際のメディア表現の基礎を習得します。



グラフィックソフト Illustrator および Photoshop の活用とソフトの連携によるDTP作業、さらに、企画・立案のデザインを通じて実践的な表現方法の基礎を学習します。

文字デザインや構成デザイン等の学習により、高度な表現方法の習得に取り組み、効果的な視覚伝達の表現力向上を目指します。

各種依頼事業や事業者広告の制作を通じて社会におけるデザインの進め方や、5W1Hの考え方による実践的デザイン手法を学習します。

ビジネスシーンに必要なビジネスマナーや実践的コミュニケーションの方法等について学びます。

映像メディア表現や Web デザインの作成等、総合的な作品制作を行います。

3年時の作品制作例



▲ デザイン実習 II ・課題研究 等における成果物及びデザイン活動の様子▶



主に地域の商業活動及び産業経済に関する調査研究や商品開発、または広告・宣伝等に関する調査研究等、地域の抱える課題に着目し、リサーチやヒアリング等のフィールドワークを通じてその解決に資する実践と提案を行います。

デザインの考え方を深化させ、ブランディングについての総合

これまでの学習内容を統合した総合的課題による作品制作を行います。

